

## ＜施策の取組状況及びKPIの進捗状況＞

### 【基本目標①】

○3つの港と水産・観光資源を生かしたまちづくり

(1) 産業振興・雇用創出

①国内外への市場拡大及び新商品開発支援

項目	基準値	H27実績 (2015年)	H28実績 (2016年)	H29実績 (2017年)	達成度 (累計)	2019年度 KPI	進捗 評価
新商品開発支援件数	—	3件	0件	2件	5/12件	20件 (5年累計)	D
国内外への市場拡大 や企業誘致・起業・創 業の拡大による雇用 創出数	—	10人	50人	8人	68/90人	150人 (5年累計)	C
ビジネスマッチング 商談件数(圏域)	—	531件	456件	711件	1,698/ 1,080件	1,800件 (5年累計)	B
漁業所得	15.2億円 (2013年)	15.3億円	21.9億円	未公表	—	19億円以上	—

#### 平成29年(2017年)の取組状況

- ・水産加工大賞の開催により、新商品の開発ができ、また、首都圏百貨店などでのPRやSea級グルメ全国大会等への参加により、既存商品のPRに努めた。伯州綿については、地域おこし協力隊の新規採用や海とくらしの史料館での展示、イベント「てぬぐいひらひら」の開催などにより、PRに努めた。
- ・「浜の活力再生プラン」に基づき、魚食普及事業や6次産業化、活魚施設の整備などの取り組みを行った。

②農業・水産業の担い手育成・確保

項目	基準値	H27実績 (2015年)	H28実績 (2016年)	H29実績 (2017年)	達成度 (累計)	2019年度 KPI	進捗 評価
新規就農者	—	3人	0人	0人	3/3人	5人 (5年累計)	B
新規漁業就業者	—	15人	10人	16人	41/30人	50人 (5年累計)	B
「伯州綿」学習・ 体験事業開催数	—	4回	14回	20回	(38回) 達成	30回 (5年累計)	A

#### 平成29年(2017年)の取組状況

- ・新規就農については、機械・施設等を整備する費用等の支援を実施した(就農応援交付金:1件、青年就農給付金:5件、就農条件整備事業:3件)。
- ・「伯州綿」学習・体験事業を渡小や聖心幼稚園、米子南高校などで行い、前年以上に、伯州綿に触れ合う機会を創出した。

### ③企業誘致及び起業・創業の拡大

項目	基準値	H27実績 (2015年)	H28実績 (2016年)	H29実績 (2017年)	達成度 (累計)	2019年度 KPI	進捗 評価
誘致企業数	—	2社	1社	5社	8/9社	15社 (5年累計)	C
起業・創業社数	—	5社	5社	5社	15/15社	25社 (5年累計)	B
起業・創業支援件数 (相談対応含む)	—	相談21件 創業14件	相談21件 創業14件	相談17件 創業12件	99/60社	100社 (5年累計)	B
国内外への市場拡大 や企業誘致・起業・創 業の拡大による雇用 創出数〔再掲〕	—	10人	50人	8人	68/90人	150人 (5年累計)	C

#### 平成29年(2017年)の取組状況

- ・宿泊業者など5社の誘致企業があり、飲食店などの5社の起業・創業があった。一方で、雇用創出数は平成28年は駅前ホテルや水産会社などの新規雇用が多くあったが、平成29年は大幅に減少した。

## (2) 観光の振興

### ①観光地の魅力度向上による滞在型観光の推進

項目	基準値 (2014年)	H27実績 (2015年)	H28実績 (2016年)	H29実績 (2017年)	達成度 (累計)	2019年度 KPI	進捗 評価
水木しげるロード年間 観光入込客数	230万人	197.2万人	214.7万人	204.1万人	—	年間200万 人以上を維持	B
水木しげる記念館 入館者数	20.4万人	18.07万人	20.34万人	17.37万人	—	年間20万人 以上を維持	C
水産観光イベント 来場者数	4.6万人	5.05万人	5.09万人	5.21万人	5.21/ 5.14万人	5.5万人	B
山陰いいものマルシ ェ来場者数(圏域)	—	4.5万人	3.3万人	2.3万人	10.1/ 15万人	15万人 (3年累計)	C
クルーズ客船寄港 年間観光客数	1.4万人	1.94万人	3.96万人	6.65万人	6.65/ 4.76万人	7万人	B

#### 平成29年(2017年)の取組状況

- ・5月からのロードリニューアル工事の影響もあり、平成28年に比べ入込客数は落ちたものの、「世界妖怪会議」「鬼太郎祭」の開催などにより、年間200万人以上を維持している。
- ・水産観光イベントとして、水産まつり・まぐろ感謝祭・カニ感謝祭・境漁港見学ツアーを実施。加えて、沿岸漁業者による中野港漁村市の開催や、民間企業によるセーリング体験や、クルージング等の新たなレジャー事業の展開など、官民が連携して、水産資源を生かした観光の推進を行っている。
- ・「山陰いいものマルシエ」を米子で開催し、23,000人の来場があった。このほか、大阪・芦屋でも開催し、製品の消費拡大等を図った。

② 外国人観光客の誘客促進

項目	基準値 (2014年)	H27実績 (2015年)	H28実績 (2016年)	H29実績 (2017年)	達成度 (累計)	2019年度 KPI	進捗 評価
クルーズ客船寄港 年間外国人観光客数	1.1万人	1.39万人	1.91万人	4.21万人	4.21/ 3.44万人	5万人	B
国際線利用者数(ソウル便・香港便・チャーター便)	3.8万人	3.99万人	5.23万人	7.76万人	達成	6.5万人	A
DBSクルーズフェリー乗客数(境港～東海間)	1.7万人	2.77万人	2.81万人	3.37万人	達成	3万人	A

平成29年(2017年)の取組状況

- ・境港管理組合を事務局とし、鳥取島根両県や中海・宍道湖・大山圏域市長会構成市、商工会議所や観光協会等で組織する境港クルーズ客船環境づくり会議が中心となって、クルーズ客船の誘致活動や、客船寄港時のおもてなしイベントや観光案内、二次交通対策を実施した。

(クルーズ客船寄港回数 H27:23回 ⇒ H28:33回 ⇒ H29:61回)

- ・国際線利用者数については、香港便の就航(H28.9月)やソウル便のLCC<sup>(※)</sup>化(H28.10月)の影響により、利用者数が大きく伸びた。

(ソウル便:48,621人、香港便:26,844人、上海チャーター便:2,097人)

(※)LCC…Low Cost Carrierの略称で、効率的な運営により低価格の運賃で運航サービスを提供する航空会社のこと

③ 米子鬼太郎空港・DBSクルーズフェリーの利用促進

項目	基準値 (2014年)	H27実績 (2015年)	H28実績 (2016年)	H29実績 (2017年)	達成度 (累計)	2019年度 KPI	進捗 評価
年間空港利用者数 (ANA便)	49.6万人	54.9万人	57.2万人	58.0万人	58.0/ 55.8万人	60万人	B
国際線利用者数(ソウル便・香港便・チャーター便)〔再掲〕	3.8万人	3.99万人	5.23万人	7.76万人	達成	6.5万人	A
DBSクルーズフェリー乗客数(境港～東海間)〔再掲〕	1.7万人	2.77万人	2.81万人	3.37万人	達成	3万人	A

平成29年(2017年)の取組状況

- ・米子空港利用促進懇話会や山陰国際観光協議会を通じ、県内外への観光PRのほか、市民に向けた利用促進を行った。また、米子空港ビルでのイベント開催等に出店及び支援を行った。

- ・国際定期便利用促進協議会を通じ、運行会社や旅行会社への支援、環日本海市民交流促進補助金により国際定期航路を利用した民間の国際的な文化・スポーツ交流を支援、国際定期航路のPRや支援制度の紹介を実施した。

### (3) 社会基盤の整備

#### ③ みなとを核とした官民連携による賑わいづくり

項目	基準値 (2014年)	H27実績 (2015年)	H28実績 (2016年)	H29実績 (2017年)	達成度 (累計)	2019年度 KPI	進捗 評価
水族館設置に向けて の基本構想策定	—	0件	0件	0件	—	1件	C
国内RORO船定期 航路就航	—	0件	0件	0件	—	1航路	B
クルーズ客船寄港 年間観光客数〔再掲〕	1.4万人	1.94万人	3.96万人	6.65万人	6.65/ 4.76万人	7万人	B

#### 平成29年(2017年)の取組状況

- ・水族館構想の実現に向け平成27年に鳥取県・境港管理組合と共同で実施した「実現可能性調査」の結果報告を受け、引き続き、鳥取県・境港管理組合と協議しながら、慎重に検討していく。
- ・国内RORO船の試験輸送を3回実施した。平成32年度航路開設を目指し、今後も試験輸送を継続実施していく。

### (4) 移住・定住の促進

#### ① 移住・定住の促進・情報発信の充実

項目	基準値	H27実績 (2015年)	H28実績 (2016年)	H29実績 (2017年)	達成度 (累計)	2019年度 KPI	進捗 評価
移住・定住者数	—	69人	149人	179人	397/ 360人	600人 (5年累計)	B
市外在住者の定期 借地権契約件数	—	9件	6件	6件	21/30件	50件 (5年累計)	C
地域おこし協力隊員 数	—	3人	3人	4人	10/13人	21人 (延べ) (5年累計)	C

#### 平成29年(2017年)の取組状況

- ・市ホームページ内の移住定住に関するページを更新し、新たに「移住者インタビュー」などの項目を追加した。また、県西部圏域(2市7町)でまとまって、移住定住に向けて、都市圏へのポスター・パンフレットの配布を行った。
- ・定期借地権制度をPRし、市外者を呼び込み、移住・定住の促進に取り組んだ。
- ・大阪・東京などの移住イベントに参加し、市のPRと合わせて、地域おこし協力隊の募集を行った。

## 【基本目標②】

○「子育てするなら境港」を標榜した子育て環境づくり

(1) 少子化対策・子育て支援

① 出会いの場の創出

項目	基準値 (2014年)	H27実績 (2015年)	H28実績 (2016年)	H29実績 (2017年)	達成度 (累計)	2019年度 KPI	進捗 評価
年間婚姻件数	386件	402件	434件	402件	402/ 424件	450件	C
婚活支援事業参加者 数(圏域参加者数)	210人	251人	178人	151人	580/ 720人	1,200人 (5年累計)	C

平成29年(2017年)の取組状況

- ・中海・宍道湖・大山圏域で連携して婚活事業を実施し、婚活イベントを米子市・松江市の2会場で開催した。

② 安心な妊娠出産環境・子育て支援の充実

項目	基準値 (2014年)	H27実績 (2015年)	H28実績 (2016年)	H29実績 (2017年)	達成度 (累計)	2019年度 KPI	進捗 評価
合計特殊出生率	1.55% (H26公表値)	1.47% (H27公表値)	1.71% (H28公表値)	1.55% (H29公表値)	1.55/ 1.70%	1.80%	C
不妊治療後の母子 手帳交付者数	—	9人	13人	12人	12/12人	20人	B
保育園待機児童ゼロ の維持	—	0人 (H28.4現在)	0人 (H29.4現在)	0人 (H30.4現在)	—	待機児童 ゼロの維持	B
児童クラブ受入児童 の拡大(小学校4~6 年生の受入)	0校区	1校区	3校区	5校区	—	全7校区 実施	B
アンケート調査等 による公園利用者満足 度	—	未実施	60%	未実施	60/70%	70%以上	C

平成29年(2017年)の取組状況

- ・不妊治療に関して、4月より、「一般不妊治療」「不妊検査費」に対する助成を開始した。
- ・待機児童ゼロの維持のため、加配保育士の配置に係る費用の助成や1歳児の保育に係る保育士の配置人数を国基準より多く配置した場合の費用の助成を実施した。
- ・上道、余子児童クラブで受入対象児童を小学校6年生まで拡充した。(平成30年度に全7校区実施予定)
- ・平成28年に公園ニーズ調査を実施した。調査結果を参考に、委託による除草と合わせて、職員の直営による除草を強化するなど、公園の環境整備に努めた。

(2) 女性活躍の推進、ワーク・ライフ・バランスの啓発・支援

① ワーク・ライフ・バランスの啓発・支援

項目	基準値 (2014年)	H27実績 (2015年)	H28実績 (2016年)	H29実績 (2017年)	達成度 (累計)	2019年度 KPI	進捗 評価
「鳥取県男女共同参画推進企業」認定割合	3.2%	4.26%	5.33%	5.84%	5.84/ 6.08%	8.0%	C

平成29年(2017年)の取組状況

- ・制度周知の説明会、事業所対象の講演会を開催し、ワーク・ライフ・バランスについての啓発及び理解の促進を図った。

② 女性の就労環境充実のための家庭介護負担の軽減

項目	基準値	H27実績 (2015年)	H28実績 (2016年)	H29実績 (2017年)	達成度 (累計)	2019年度 KPI	進捗 評価
75歳以上人口に占める要介護認定者の割合抑制	38.0% (2019年度見込)	33.74%	32.75%	34.70%	—	37.0%	B
高齢者地域見守り体制の整備	3地区 (2014年)	4地区	4地区	4地区	—	7地区	C

平成29年(2017年)の取組状況

- ・「いきいき百歳体操」を地区単位で教室として実施し、地域で住民同士が取り組める仕組みづくりを進めた。
- ・平成29年中の高齢者地域見守り体制の新規組織化はなかったが、今後も、日常生活の中で高齢者を支える仕組みとして、関係機関と情報共有を進め、地域のネットワークづくりを推進していく。

## 【圏域の目標】

○県境を越えた広域連携による魅力ある圏域づくり

(1) 中海・宍道湖・大山圏域市長会

項目	基準値 (2014年)	H27実績 (2015年)	H28実績 (2016年)	H29実績 (2017年)	達成度 (累計)	2019年度 KPI	進捗 評価
圏域への観光入込客数	2,865万人	2,849万人	2,827万人	2,745万人	2,745/ 3,267万人	3,870万人	C
圏域での外国人宿泊数	5.6万人	8.5万人	9.4万人	11.7万人	達成	11.2万人	A
山陰いいものマルシェ来場者数(圏域) 〔再掲〕	—	4.5万人	3.3万人	2.3万人	10.1/ 15万人	15万人 (3年累計)	C
ビジネスマッチング商談件数(圏域) 〔再掲〕	—	531件	456件	711件	1,698/ 1,080件	1,800件 (5年累計)	B

### 平成29年(2017年)の取組状況

#### <活力にあふれる圏域づくり：産業振興>

圏域企業の販路拡大支援として、海外に向けては、鳥取県の「ロシア中小企業・人的交流分野における協働プラットフォーム」への参画、また、インドで開催されたJAPAN MELA(日本産業技術展)に出展した。国内に向けては、圏域内での「山陰いいものマルシェ」のほかに、圏域外(大阪市、芦屋市)での「山陰いいものマルシェ」・「山陰いいものプレミアムマルシェ」も開催し、山陰が誇る「いいもの」を再発掘するとともに、圏域内外に向けて情報発信を行った。

#### <訪ねてみたい圏域づくり：観光振興>

クルーズ客船寄港時のおもてなしや、クルーズ客船乗客・クルー向け交流イベント、ボランティアガイドによる観光案内業務を実施した。また、旅行誌やヤフーニュースへの記事配信、三大都市圏等への観光プロモーションを実施し、圏域のPRに努めた。

#### <住みたくなる圏域づくり：環境の充実>

「ラムサールシンポジウム」や「ウンパくんのスタンプラリー&宝探しゲーム2」を開催し、圏域の豊かな自然環境について情報発信した。

#### <ともに歩む圏域づくり：連携と協働>

「地方創生カレッジ官民連携講座」の開催や「山陰まんなか未来創造塾」への参加を通して、圏域の将来を担う人材育成を圏域共同で実施した。